

平 監 第 46 号
平成30年10月29日

平川市長 長 尾 忠 行 様

平川市監査委員 鳴 海 和 正

平川市監査委員 佐 藤 保

指定管理者監査の結果報告について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、公の施設の指定管理者監査を実施したので、同条第9項の規定に基づき、その結果を報告する。

記

1. 監査の実施日 平成30年10月22日
2. 監査の対象 NPO法人めーりんごネット

3. 監査の実施概要

四季の蔵「もてなしロマン館」の指定管理者であるNPO法人めーりんごネットに対して、公の施設の管理運営に係る平成29年度における会計経理及び施設・設備の管理状況について監査した。

監査に当たっては、

1. 施設は関係条例・規則の定めるところにより適切に管理されているか。
2. 協定等に基づく義務の履行は適切か。
3. 利用促進のための努力が行われているか。
4. 施設管理に係る収支会計経理は適切か。
5. 関係帳票の整備、記帳は適切か。また、証拠書類の整備、保存は適切か。

に主眼をおき、関係帳簿・関係書類等を点検するとともに、関係職員からの説明を聴取することにより実施したものである。

4. 監査対象の概要

(1) 監査対象施設の概要

名 称	四季の蔵「もてなしロマン館」
所在地	平川市猿賀石林 10 番地 1
施設概要	敷地面積：4,870,00 m ² 、建築面積：591.48 m ² （木造平屋建） 施設内用：観光、物産及び芸術文化の振興施設 附帯施設：ショップ（特産品、物産販売部分） レストラン（飲食部分） 展示室（絵画、書店等展示部分）
指定管理者名	特定非営利活動法人めーりんごネット
指定管理者の指定期間	平成 29 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日（3 年間）
指定管理料	平成 29 年度 6,317,000 円
業務範囲及び管理基準	<p>(業務範囲)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光施設の案内、宿泊施設の紹介その他観光情報の収集及び提供に関する業務 2 四季とまつりの紹介及び展示に関する業務 3 地場製品の展示等に関する業務 4 絵画、書等の展示及び企画展計画に関する業務 5 もてなしロマン館の管理及び利用促進に関する業務 6 利用料金の収納に関する業務 7 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務 <p>(管理基準)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 関係法令、平川市条例及び規則を遵守し、施設の設置目的に沿った適正な管理を行うこと。 2 利用者が常に安全な環境で利用できるよう管理を行うこと。 3 指定管理者の業務を通じて取得した個人情報の取扱いについては個人情報保護法及び平川市個人情報保護条例の趣旨に基づき適正に行うこと。 4 公の施設であることを常に念頭において、公平な管理運営を行うこととし、特定の団体等に有利あるいは不利になる運営をしないこと。 5 事業計画書等に基づき、利用者が快適に施設を利用できるよう適正な管理運営を行うとともに、管理運営経費の削減に努めること。 6 利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めること。

施設利用料	施設名	午前9時 ～正午	正午～ 午後5時	午後5時～ 午後10時	午前9時～ 午後10時
	展示室1	580円 (1,000円)	980円 (1,670円)	980円 (1,670円)	2,530円 (4,330円)
	展示室2	580円 (1,000円)	980円 (1,670円)	980円 (1,670円)	2,530円 (4,330円)
	※土曜日及び日曜日並びに国民の祝日に関する法律に定める祝日に当たる日の使用料は、()内に定める額とする。				
所管部署	経済部 商工観光課				
関係する条例・規則	<ul style="list-style-type: none"> ・平川市公の施設の指定管理者の指定等に関する条例 ・平川市公の施設の指定管理者の指定等に関する条例施行規則 ・平川市もてなしロマン館条例 ・平川市もてなしロマン館条例施行規則 				

(2) 平成29年度事業成績

平成29年度の事業成績を決算書でみると、次のとおりとなっている。

ア) 平成29年度貸借対照表 (NPO 法人会計基準による)

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 3,681,516 】	【流動負債】	【 3,523,998 】
現金預金	2,692,450	買掛金	1,558,063
商品	989,066	未払金	1,158,145
		未払消費税	663,500
		預り金	74,290
		未払法人税等	70,000
【固定資産】	【 4 】	【固定負債】	【 6,065,000 】
(有形固定資産)	(4)	長期借入金	6,065,000
建物	1	負債合計	9,588,998
構築物	1	正味財産の部	
工具器具・備品	2	前期繰越正味財産	△ 7,392,128
		当期正味財産増減額	1,484,650
		正味財産合計	△ 5,907,478
資産合計	3,681,520	負債及び正味財産合計	3,681,520

貸借対照表表では、資産の部の流動資産が3,681,516円で503,163円(15.8%)の増となっている。

これは、現金及び預金が491,921円(22.4%)の増、商品が11,242円(1.1%)

の増となっていることによる。

次に固定資産は4円で、すべて減価償却期間が過ぎ前年より13,163円(100.0%)の減となっている。

以上により、資産合計は3,681,520円で490,000円(15.4%)の増となっている。

負債の部では、流動負債が3,523,998円で45,350円(1.3%)の増となっている。

これは、未払金が116,582円(11.2%)の増となっていることが主な要因である。

次に固定負債は6,065,000円で1,040,000円(14.6%)の減となっている。

以上により、負債合計は9,588,998円で994,650円(9.4%)の減となっている。

正味財産(資産から負債を引いたもので、借金などを返しても正味で残るはずの財産)の部では、当期正味財産増減額が894,810円の減で、1,484,650円(20.1%)の減となり、この結果、正味財産合計が5,907,478円の赤字となった。

以上により、負債・正味財産合計は3,681,520円で490,000円(15.4%)の増となっている。

イ) 活動計算書 (NPO 法人会計基準による)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
	29年度	28年度	増減額
1 受取会費	0	0	0
2 受取助成金等		0	0
3 事業収益	63,446,382	60,925,961	2,520,421
売店・食堂売上高	55,356,846	52,624,509	2,732,337
販売手数料	1,612,536	1,484,452	128,084
指定管理料	6,317,000	6,317,000	0
運営委託料	160,000	500,000	△ 340,000
4 その他収益	764,022	858,440	△94,418
受取利息	48	51	△ 3
雑収益	763,974	858,389	△ 94,415
経 常 収 益 計	64,210,404	61,784,401	2,426,003
1 事業費	59,763,267	56,319,549	3,443,718
(1)売店・食堂売上原価	36,320,662	34,081,098	2,239,564
(2)人件費	14,156,111	13,502,623	653,488
給与手当	14,037,375	13,345,720	691,655
法定福利費	28,736	101,403	△72,667
福利厚生費	90,000	55,500	34,500
(3)その他経費	9,286,494	8,735,828	550,666

広告宣伝費	307,951	268,358	39,593
支払手数料	148,236	123,768	24,468
消耗品費	1,077,509	1,141,301	△63,792
車輛費	452,404	742,629	△290,225
水道光熱費	4,289,358	4,068,576	220,782
減価償却費	13,163	13,243	△80
施設管理費	2,351,002	1,804,640	546,362
雑費	646,871	573,313	73,558
2 管理費	2,892,487	3,015,392	△122,905
(1)人件費	600,000	600,000	0
役員報酬	600,000	600,000	0
(2)その他経費	2,292,487	2,415,392	△122,905
通信費	231,575	246,777	△15,202
賃借料	53,996	200,340	△146,344
租税公課	1,396,807	1,401,307	△4,500
保険料	161,010	167,360	△6,350
雑費	449,099	399,608	49,491
経常費用計	62,655,754	59,334,941	3,320,813
当期経常増減額	1,554,650	2,449,460	△894,810
法人住民税等	70,000	70,000	0
当期正味財産増減額	1,484,650	2,379,460	△894,810
前期繰越正味財産額	△7,392,128	△9,771,588	2,379,460
次期繰越正味財産額	△5,907,478	△7,392,128	1,484,650

活動計算書では、経常収益が 64,210,404 円で 2,426,003 円 (3.9%) の増となっている。

これは、事業収益である売店・食堂売上高が 55,356,846 円で 2,732,337 円 (5.2%) の増、販売手数料が 1,612,535 円で 128,084 円 (8.6%) の増となっていることが主な要因である。

また指定管理料については、前年度同額の 6,317,000 円となっている。

経常費用は、62,655,754 円で 3,320,813 円 (5.6%) の増となっている。

内訳を見ると、事業費が 59,763,267 円で 3,443,718 円 (6.1%) の増となっており、これは、売店・食堂売上原価が 36,320,662 円で 2,239,564 円 (6.6%) の増、施設管理費が 2,351,002 円で 546,362 円 (30.3%) の増となっていることが主な要因である。

次に、管理費が 2,892,487 円で 122,905 円 (4.1%) の減となっており、これは、賃借料が 53,996 円で 146,344 円 (73.0%) の減となっていることが主な要因である。

経常収益から経常費用差引後の当期経常増減額は、1,554,650 円の黒字である。

これに支払法人税 70,000 円が加わり、当期正味財産増減額が 1,484,650 円の黒

字であった。

前期繰越正味財産額 7,392,128 円の赤字と合わせ、次期繰越正味財産額は 5,907,478 円の赤字となり、年々次期繰越正味財産額の赤字が縮減している。

この活動計算書の中で売店・食堂売上高及び販売手数料に対する売上原価の前年度比較をしたものが次の表ウである。

ウ) 売店・食堂等売上総利益 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
(単位:円、%)

科 目		平成 29 年度	平成 28 年度	増減額	増減率
売 上	売店・食堂売上高	55,356,846	52,624,509	2,732,337	5.2
	販売手数料	1,612,536	1,484,452	128,084	8.6
	純売上高	56,969,382	54,108,961	2,860,421	5.3
仕 入	期首商品棚卸高	977,824	882,123	95,701	10.8
	商品仕入高	36,331,904	34,176,799	2,155,105	6.3
	期末商品棚卸高	△989,066	△977,824	11,239	1.1
	売上原価	36,320,662	34,081,098	2,239,564	6.6
売 上 総 利 益		20,648,720	20,027,863	620,857	3.1

純売上高は、56,969,382 円で 2,860,421 円 (5.3%) の増となっており、売上原価も 36,320,662 円で 2,239,564 円 (6.6%) の増となり、差引売上総利益は 20,648,720 円で 620,857 円 (3.1%) の増となっている。

エ) 各店舗売上高 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位:円、%)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減額	増減率
シ ョ ッ プ (「旬菜くらぶ」を含む)	39,216,081	36,886,695	2,329,386	6.3
レ ス ト ラ ン (「の ほほん等」を含む)	26,010,916	24,954,928	1,055,988	4.2
ギ ャ ラ リ ー	1,233,118	1,235,560	△ 2,442	△0.2
合 計	66,460,115	63,077,183	3,382,932	5.4

各店舗別売上高は、ギャラリーが 2,442 円 (0.2%) の減となったものの、それ以外の店舗では全て増となり、全体として 3,382,932 円 (5.4%) の増となっている。

オ) 各店舗集客実績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：人、%)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減数	増減率
シ ョ ッ プ (「旬菜くらぶ」を含む)	48,285	46,938	1,347	2.9%
レ ス ト ラ ン (「のほほん」を含む)	35,313	34,879	434	1.2%
ギ ャ ラ リ ー	30,139	28,875	1,264	4.4%
合 計	113,737	110,692	3,045	2.8%

各店舗別集客実績は、すべての店舗で増人となり、全体では 113,737 人で 3,045 人 (2.8%) の増となった。

その要因は、広域的 P R 効果や田舎館村からの広域観光によるものと思われる。

カ) 各種イベント事業実績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(1) ショップ・レストラン等

館外イベントとして植木市・売店にてロマン館まつり・レストランは農家レストランやワンコインランチ等を開催

(2) ギャラリー

絵画・骨董掘り出し大市、生活・雑貨・キモノ展等 59 回利用 (前年度 57 回)

5. 監査結果

公の施設の指定管理者として、管理業務及び事務経理の履行に関しては、基本協定書、年度協定書及び業務基準書に沿って、概ね適正な内容であると認められた。

6. 総括意見

今回の平成 29 年度の会計処理監査は、前回 26 年度会計処理に続き 3 回目となり、長年、特定非営利活動法人めーりんごネットが平川市四季の蔵「もてなしロマン館」を管理しつつ、平川市尾上地域の観光拠点の一つとして情報を収集及び提供することで、平川市の観光発展に寄与していることについて敬意を表するものである。

本報告書の前年度の比較でもわかるように、概ね各部門での売上及び集客数が年々増加している。

隣地の盛美園や猿賀神社と共存しながら今後も集客につとめ、これまでの赤字幅の縮小を期待するものである。

なお、公の施設の指定管理は、民間事業者の知識や技術を活用し、利用者に対するサービスの向上や管理に要する経費の縮減を図ることを目的に設けられたものであり、経費縮減に努めるとともに今後も黒字化を目指していただきたい。